

長野市立図書館基本計画 最終点検結果について

1 最終点検にあたって

(1) 長野市立図書館基本計画

「長野市立図書館基本計画」は、市民の知的欲求に応え、自立を支える、利用しやすい図書館を実現するため、平成 28 年度を初年度とする 6 年間の基本計画を定めたものである。

本計画が令和 3 年度に満了を迎えたことから、計画に掲げる施策の実績等を把握する最終点検を実施した。

(2) 点検の方法

【調査対象】 計画に掲げる事業・取組等（計 46 事業）を担当する所属に調査を実施。

【調査項目】 数値目標と具体的な取組について、6 ヶ年計画の最終年度である令和 3 年度末現在の現況・課題と今後の方向性を調査。

2 最終点検結果（令和4年3月末現在）

(1) 数値目標

指標 11 項目のうち、4 項目で目標を達成。4 項目で計画策定時の値を上回り、3 項目で計画策定時の値を下回った。

表 数値目標及び実績値

No.	担当所属	指標項目	計画策定時 現状値 (H26年度)	目標値 (R3年度)	実績値 (R3年度)	達成 状況
1	長野図書館 南部図書館	登録率 (%)	16.1	30.0	14.0	△
2	長野図書館	1日当たりの入館者数（長野図書館） (人)	1,176	1,250	997	△
3	長野図書館 南部図書館	関係機関等との連携による事業数	0	10	2	○
4	長野図書館 南部図書館	読みがたり・朗読ボランティア養成講座 参加者数 (人)	30	50	63	◎
5	長野図書館 南部図書館	レファレンス受付数	5,131	6,000	1,593	△
6	長野図書館 南部図書館	国立国会図書館レファレンス協同データ ベース登録数	801	1,000	953	○
7	長野図書館 南部図書館	地域課題に対応する企画展の開催数	0	5	7	◎
8	長野図書館 南部図書館	青少年向け事業の企画数	0	5	10	◎
9	長野図書館 南部図書館	高齢者向け事業の企画数	0	5	6	◎
10	長野図書館 南部図書館	独自研修プログラムの講座数	0	5	2	○
11	長野図書館 南部図書館	各種データベースへのアクセス時間 (分/年)	2,195	6,000	2,543	○

(達成状況) ◎…達成、○…近づいている、△…低下している

(2) 具体的な取組

具体的な取組 46 事業のうち、34 事業を実施し、12 事業が未実施であった。

表 具体的な取り組み 実施事業数と未実施事業数

項目		実施 事業数	未実施 事業数
1 課題解決に向けたサービスの提供	1-1 多様化する地域の課題に向けた資料・情報の整備と企画	5	0
	1-2 様々な利用者に対応した資料・情報の整備と企画	5	1
	1-3 様々な学習機会の提供	2	0
	1-4 学校図書館への支援	1	0
2 情報サービスの充実	2-1 レファレンスサービス・パスファインダーの充実	3	0
	2-2 電子情報の提供	4	0
	2-3 情報リテラシーの向上	0	1
3 外部の知との連携	3-1 関係機関との連携 - 図書館コンソーシアムの形成 -	1	1
	3-2 連携中枢都市圏の連携	1	0
4 施設の整備と機能の充実	4-1 本館と分館のネットワーク	0	1
	4-2 長野図書館	1	2
	4-3 南部図書館	2	0
	4-4 分館・分室	1	1
	4-5 移動図書館	1	0
	4-6 ブック・ディテクション・システム (BDS) の導入	0	1
5 効果的で効率的な運営	5-1 運営体制の充実	2	2
	5-2 NPO市民団体・ボランティア	2	2
	5-3 危機管理対応	1	0
	5-4 図書館活動の適切な評価	2	0
合計		34	12

施策1 課題解決に向けたサービスの提供

○1-1 多様化する地域の課題に向けた資料・情報の整備と企画

【実施状況】実施：5事業／未実施：0事業

- ・月毎のテーマ本や周辺施設等の企画、時事の話題に合わせたテーマ本コーナーやショーケースを活用した展示コーナーを設置した。また、長野図書館ではフォークナー研究者と連携したフォークナーの講演会、南部図書館では図書館まつりに合わせた講演会を実施した。地域課題を把握し、今後も継続して実施していく方針である。
- ・中山間地支援サービスとして、移動図書館による巡回や公民館・交流センターに設置されている分室へ毎月新規配本を行った。移動図書館に関しては、中山間地域の運転免許返納が進んでいることから、市民の学びを支えるため、今後も運行を維持する必要がある。

○1-2 様々な利用者に対応した資料・情報の整備と企画

【実施状況】実施：5事業／未実施：1事業

- ・子ども向けの企画として、おはなし会やお楽しみ会を実施した。また、これらについて回数や内容について見直しを行い、おはなし会については「おはなし会カード」を作成したことでリピーターが増加した。新規企画としては、学校等の長期休みに合わせて「お楽しみセット」を作成した。
- ・青少年向けの企画として、青少年向けのテーマ本コーナーを設置し、中学生や高校生の持つ課題（学習・進路等）の解決を支援するための資料を提供した。中高生は図書館を勉強する場所として利用することが多く、本の貸出が少ないことが課題である。今後は青少年に向けて積極的に読書の大切さをPRし、図書利用の促進を図っていききたい。
- ・高齢者向けの企画として、高齢者向けのテーマ本コーナーの設置やアンケートで希望のあった「大人のためのおはなし会」を実施した。
- ・読書に対する意欲喚起のため、読書手帳を導入・配布した。また、ネット接続の図書館システム上では、「My本棚」として読書履歴の管理や読書マラソンの機能があり、希望者は利用することができる。今後も継続して実施していく。

【未実施事業について】

- ・事業番号11 図書館への来館が困難な者に対する対応策の検討
現況として、コンビニ配送網を利用した本の受け取りと返却は、広い長野市での費用対効果を考えると実施困難である。中山間地域への対応も期待できる郵便局との連携について、他市の事例等を参考に検討したい。

○1-3 様々な学習機会の提供

【実施状況】実施：2事業／未実施：0事業

- ・読書活動支援として、読書会のために会議室等を提供している（長野図書館）。また、文学鑑賞講座実行委員会の主催で文学鑑賞講座を開催した（長野図書館）。文学鑑賞講座に関しては、実行委員の高齢化に伴い継続することが困難になってきており、今後の継続に関しては検討していく必要がある。

○1-4 学校図書館への支援

【実施状況】実施：1事業／未実施：0事業

- ・中山間地域の学校に対し、市の使送便を利用した図書の配送を開始した。また、中山間地域以外の学校についても、図書の置き置きサービスを試行した。今後は本の修繕講習会等を企画し学校図書館への支援を広げていきたい。

施策2 情報サービスの充実

○2-1 レファレンスサービス・パスファインダーの充実

【実施状況】実施：3事業／未実施：0事業

- ・レファレンスサービスに関して、司書職員がカウンターや電話で調べもの相談を受け付けた。また、国立国会図書館レファレンス協同データベースに現在 953 件の事例を登録している。スペースに制約がありレファレンスデスクの設置はできていないため、今後、大規模改修や建替の際に設置を検討していきたい。
- ・パスファインダー（調べ案内）は、現在一般向け 37 種類、児童向け 27 種類を作成しホームページに掲載しており、今後も充実に努めていきたい。

○2-2 電子情報の提供

【実施状況】実施：4事業／未実施：0事業

- ・令和4年4月より現行法規及び官報のデータベースの提供を開始、令和4年8月より、市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」の運用及び Wi-Fi によるインターネット接続回線の提供を開始する。また、貴重な郷土資料をデジタル化するための検討を行い、令和5年度にデジタル化に必要な機材を導入予定である。

○2-3 情報リテラシーの向上

【実施状況】実施：0事業／未実施：1事業

【未実施事業について】

- ・事業番号 22 「情報リテラシーの向上」
インターネットや商用データベースの使い方講座については、民間の通信業者が無料で開催していることから未実施である。今後、利用者からの要望が多ければ実施を検討する。

施策3 外部の知との連携

○3-1 関係機関との連携～図書館コンソーシアムの形成

【実施状況】 実施：1事業／未実施：1事業

- ・図書館まつりやおはなし会等イベントへの参加について、関係機関と連携した。今後もそれぞれの組織や専門知識を生かし、各種イベント等へ参加協力を依頼していく。

【未実施事業について】

- ・事業番号24 「図書館コンソーシアムの形成」
現在、図書館コンソーシアムは結成していない。今後、県立図書館や大学、短大の図書館等との相互利用等について検討していく。

○3-2 連携中枢都市圏の連携

【実施状況】 実施：1事業／未実施：0事業

- ・平成30年1月から須坂市・千曲市・高山村・信濃町・小川村・飯綱町、平成30年7月から小布施町の各図書館・図書室との広域貸出を開始した。今後、広域貸出を継続すると共に、実績について検証を行っていく。

施策4 施設の整備と機能の充実

○4-1 本館と分館のネットワーク

【実施状況】 実施：0事業／未実施：1事業

【未実施事業について】

- ・事業番号26「本館と分室のネットワーク」
中核となる分室を選び、図書館システムの導入と図書の配送を検討したが、費用が多額の見込みとなり導入には至らなかった。引き続き導入を検討していく。

○4-2 長野図書館

【実施状況】 実施：1事業／未実施：2事業

- ・長野図書館駐車場の混雑対策として、土日祝日は信濃教育会の駐車場を臨時駐車場として借用している。

【未実施事業について】

- ・事業番号27「施設の長寿命化」
空調・放送・トイレ等の設備に老朽化による不具合が度々発生している。予期しない設備の故障の発生で修繕費用を要し、計画的な設備改修が進んでいない。今後は、緊急性・重要性に応じて優先順位を付け、計画的に予算化し改修を行っていく。
- ・事業番号28「電子情報提供のための環境整備」
スマートフォンやタブレット等の個人所有割合が増加していることから、インターネット閲覧等のための端末の設置は行っていない。令和4年度にWi-Fiによるインターネット接続回線の提供を開始する。

○4-3 南部図書館

【実施状況】 実施：2事業／未実施：0事業

- ・南部図書館改築については、個別施設計画に基づき、現在の図書館建物を耐震補強をメインに改修し、10年～15年利用していく方針である。今後の整備方針については、利用状況等をみながら継続して検討していく。
- ・開館時間延長については、平成28年度に1時間延長を試行したが、延長時間中の利用者が1日平均8人であったことや職員の勤務時間増に伴う必要予算の増加が必要となることから本実施には至らなかった。今後利用者の要望が高まるようであれば再度検討をする。

○4-4 分館・分室

【実施状況】 実施：1事業／未実施：1事業

- ・分室の活用を促進するため、各分室（公民館・交流センター）において季節や年中行事を意識した本の紹介や利用促進のための読書通帳の発行を行った。また、南部図書館では分室で実施する「おはなし会」の選書を行った。今後は公民館・交流センター事業（読み聞かせ等）へ司書を派遣する等、公民館・交流センターとの連携をさらに深めていく。

【未実施事業について】

- ・事業番号 33 「分館設置の検討」

分館の設置については未検討である。公民館・交流センターのネットワーク化の状況を踏まえて検討していく。

○4-5 移動図書館

【実施状況】 実施：1事業／未実施：0事業

- ・移動図書館のコースや時間の見直しを随時行い、現在 20 コース、91 箇所を巡回している。今後も地理的に図書館から離れた地域の方や交通弱者の学習機会提供のため継続していく方針である。

○4-6 ブック・ディテクション・システム（BDS）の導入

【実施状況】 実施：0事業／未実施：1事業

【未実施事業について】

- ・事業番号 35 「BDS 導入の検討」

ブック・ディテクション・システム（BDS）については、盗難防止等の効果はあるが、全図書に感知マーカ―や IC タグなどの設置が必要となるため、現時点での導入は難しい。第五次長野市高度情報化基本計画では IC タグを用いた図書館管理システムの構築を検討していることから、施設改修等に合わせて検討していく。

施策5 効果的で効率的な運営

○5-1 運営体制の充実

【実施状況】 実施：2事業／未実施：2事業

- ・司書職員の資質向上のため、毎年研修会へ参加している。また、独自の研修プログラムとして読み聞かせボランティア養成講座を開催し、児童担当の司書職員も受講した。今後も関係機関との連携により独自の研修プログラムの作成を検討していく。

【未実施事業について】

- ・事業番号 36 「館長の公募・招へい」
館長の公募・招へいは行っていない。今後、サービス向上の観点から公募・招へい館長に期待する事項を明確にし、公募・招へいについて検討していく。
- ・事業番号 37 「指定管理者制度の導入」
指定管理者制度は導入していない。今後、業務範囲や市との役割分担について研究し、施設の改築などの際に PFI 手法の活用も含めて検討する。

○5-2 NPO 市民団体・ボランティア

【実施状況】 実施：2事業／未実施：2事業

- ・配架ボランティアは 55 人、修理ボランティアは 33 人が登録、活動をしていただいている。また、読みがたりボランティア募集のため、読みがたり講座初級コース・中級コースを実施しており、今後も継続していく方針である。
- ・障害者ライブラリーで活動する音訳・点訳ボランティアは定例会で勉強や研究を重ねることにより更なるスキルアップを図っている。音訳・点訳は極めて高度な知識や技術が必要なことから、次の担い手を確保することに苦慮している。今後は図書館だより等の広報手段を活用しボランティアへの参加を呼び掛けていくと共に、現在開催を保留している専門講師による研修を再開し、必要な人材を確保していく。

【未実施事業について】

- ・事業番号 40 「NPO 市民団体設立の検討」
現況として、NPO 市民団体の設立はしていない。図書館と NPO 双方にとってメリットがあるかどうか調査研究が必要である。
- ・事業番号 41 「ボランティアとの連携」
ボランティアとの運営連絡会議は実施していないが、イベント開催の都度連携を図っている。また、ボランティア団体と加入が期待される講座受講者との交流会を実施した。今後もボランティア団体に活動の場を提供していく。連絡会議開催については必要性を含めて検討していく。

○5-3 危機管理対応

【実施状況】実施：1事業／未実施：0事業

- ・長野図書館では令和元年度に、南部図書館では令和2年度に危機管理マニュアルを作成した。適宜内容を更新し、マニュアルに沿った危機対応訓練を継続して実施していく。

○5-4 図書館活動の適切な評価

【実施状況】実施：2事業／未実施：0事業

- ・数値目標については、前述のとおり。利用者アンケートの実施については、令和2年度にまちづくりアンケートを実施。また、シニア世代向けのイベントアンケートや講座開催後の受講者アンケートを実施した。